

2024年 3 月期 第 3 四半期 決算説明資料

2024年 1 月30日

NECキャピタルソリューション株式会社

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

目次

1. 2024年3月期第3四半期実績報告

- 1) 決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要
- 4) 事業別損益
- 5) 事業別の営業状況
- 6) リース事業の営業状況
- 7) ファイナンス事業の営業状況
- 8) インベストメント事業の状況
- 9) 営業資産残高の状況
- 10) 資金調達の状況
- 11) 与信関連費用

2. 2024年3月期 計画

- 1) 業績予想

1. 2024年3月期第3四半期実績報告

1) 決算ハイライト

【事業環境】

- ・ 業界全体のリース取扱高は前年同期比8.5%増
- ・ 資金調達環境や倒産状況は引続き今後の動向に注視が必要

【営業実績】

- ・ リース事業は、契約実行高が前年同期比減少となったものの、成約高は前年同期比増加
- ・ ファイナンス事業は、ファクタリングが増加したものの、契約実行高・成約高共に前年同期比減少

< リース事業 >	契約実行高：	2.2%減	成約高：	11.8%増
< ファイナンス事業 >	契約実行高：	3.0%減	成約高：	3.0%減

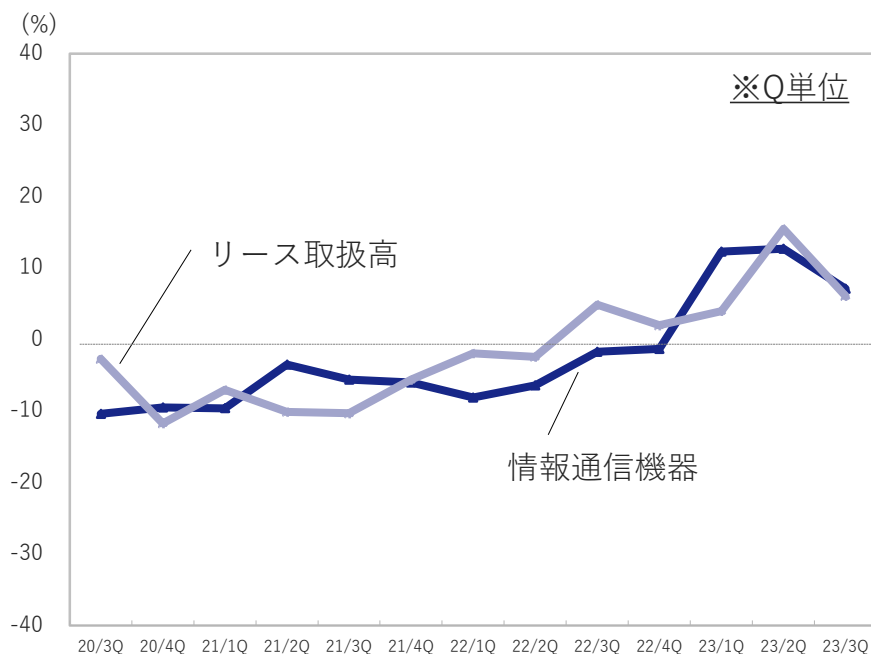
【経営成績】

- ・ 前年1Qにインベストメント事業において大型販売用不動産の売却を計上したこと等により、売上高、利益共に前年同期比減少

2) 事業環境

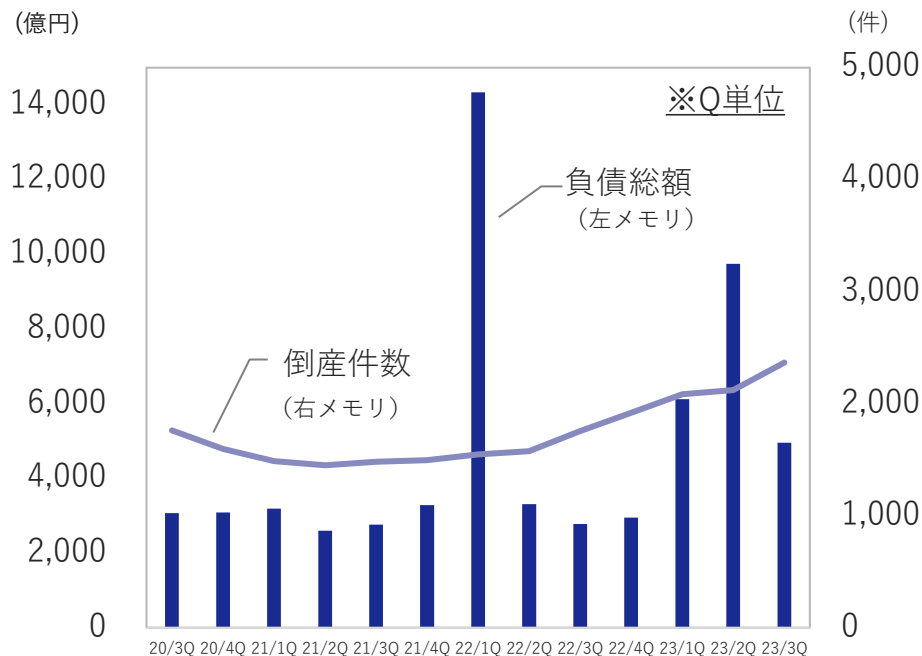
- ・リース取扱高：業界全体は前年同期比8.5%増、
当社主力の情報通信機器は前年同期比10.6%増
- ・倒産状況：23年度3Qにおける倒産件数および負債総額は増加

■ リース取扱高動向（前年同期比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計より）

■ 倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

3) 業績概要

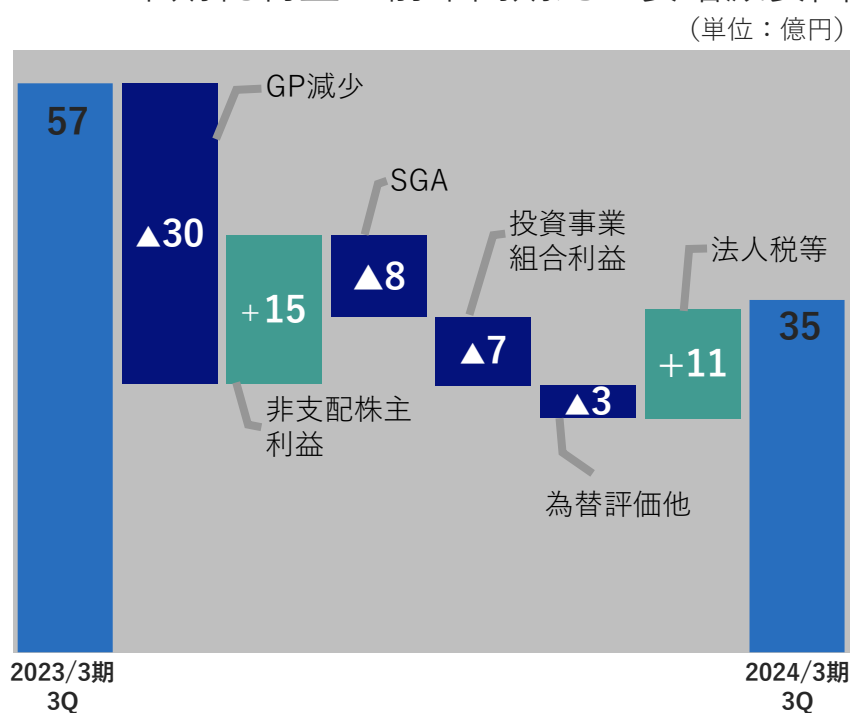
- ・ 売上高 : 前年同期比4.4%減となるものの、前年1Qの大型売却売上影響を除くと前年同期並みを確保
- ・ 四半期純利益 : 前年の大型案件売却や為替影響等を除くと、前年同期並み

■ 業績数値

(単位：億円)

	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	前年同期比
売上高	1,962	1,876	▲4.4%
営業利益	111	73	▲34.4%
経常利益	117	69	▲40.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	57	35	▲38.0%
1株当たり四半期純利益	263円20銭	163円04銭	—
営業資産残高	9,307	9,648	+3.7%
純資産	1,312	1,344	+2.4%
自己資本	1,097	1,116	+1.8%
自己資本比率 (%)	10.9	10.7	▲0.2
1株当たり年間配当金 (円)	110	※予想130	+20

■ 四半期純利益 前年同期比主要増減要因



4) 事業別損益

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	前年同期比
リース 事業	売上高	1,680	1,694	+0.8%
	売上総利益	129	121	▲6.9%
	営業利益	54	40	▲25.3%
ファイナンス 事業	売上高	50	58	+15.9%
	売上総利益	38	39	+2.4%
	営業利益	16	16	▲0.9%
インベストメント 事業	売上高	199	100	▲49.8%
	売上総利益	75	51	▲32.2%
	営業利益	52	27	▲47.2%
その他の 事業	売上高	34	25	▲27.5%
	売上総利益	11	13	+20.7%
	営業利益	2	2	+42.2%
計	売上高	1,962	1,876	▲4.4%
	売上総利益	254	224	▲11.8%
	営業利益	111	73	▲34.4%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<リース事業>>

- ・前年同期に大型の資産売却があったこと及び与信関連費用の計上から利益は前年同期比減少となるものの、この影響を除く基礎収益は改善傾向

<<ファイナンス事業>>

- ・金利収益や配当収入の増加に伴い売上および売上総利益は前年同期比増加

<<インベストメント事業>>

- ・前年1Qに大型の不動産売却等があったことから売上および利益は大幅減少

<<その他の事業>>

- ・手数料収益やヘルスケア、太陽光等の取り組みが着実に進展し売上総利益、営業利益共に前年同期比増加

5) 事業別の営業状況

■ 事業別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	前年同期比
リース事業	1,287	1,258	▲2.2%
賃貸事業	1,119	1,122	+0.2%
割賦販売	167	136	▲18.8%
ファイナンス事業	2,647	2,567	▲3.0%
営業貸付金	1,906	1,784	▲6.4%
一括ファクタリング	741	782	+5.5%
その他の事業	38	8	▲78.9%
計	3,972	3,833	▲3.5%

■ 事業別成約高

(単位：億円)

	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	前年同期比
リース事業	1,788	1,998	+11.8%
賃貸事業	1,631	1,876	+15.1%
割賦販売	157	122	▲22.2%
ファイナンス事業	2,642	2,563	▲3.0%
営業貸付金	1,901	1,780	▲6.3%
一括ファクタリング	741	782	+5.5%
その他の事業	7	54	+705.7%
計	4,436	4,615	+4.0%

- ・ 契約実行高は、営業貸付金の減少等により前年同期比減少
- ・ 成約高は、リース事業の伸長等により前年同期比増加

6) リース事業の営業状況

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	前年同期比
官公庁	574	480	▲16.4%
民需	713	778	+9.2%
サービス業	238	302	+27.0%
流通業	118	136	+15.0%
製造業	171	190	+11.3%
その他	186	150	▲19.2%
計	1,287	1,258	▲2.2%

■ 業種別成約高

(単位：億円)

	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	前年同期比
官公庁	1,061	1,276	+20.3%
民需	727	722	▲0.6%
サービス業	248	265	+7.1%
流通業	97	114	+16.9%
製造業	189	171	▲9.8%
その他	192	172	▲10.5%
計	1,788	1,998	+11.8%

■ (参考) 機種別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	前年同期比
情報通信機器	916	890	▲2.9%
電子計算機及び関連装置	425	459	+7.9%
ソフトウェア	384	306	▲20.3%
通信機器及び関連装置	106	124	+16.8%
事務用機器	126	121	▲3.6%
その他機器	245	247	+1.0%
計	1,287	1,258	▲2.2%

<<業種別契約実行高>>

- ・官公庁は大型案件が減少したことから前年同期比減少
- ・民需はサービス業・流通業・製造業が増加。サービス業は海外案件が牽引

<<業種別成約高>>

- ・官公庁は大型案件の獲得により前年同期比増加
- ・民需はサービス業・流通業が増加したものの、全体では前年同期並み

7) ファイナンス事業の営業状況

■ 契約形態別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	前年同期比
立替・APF・割賦バック	167	173	+4.2%
個別ファクタリング	741	801	+8.1%
一括ファクタリング	741	782	+5.5%
企業融資	913	739	▲19.1%
その他	85	71	▲16.4%
計	2,647	2,567	▲3.0%

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	前年同期比
官公庁	15	4	▲73.9%
民需	1,891	1,780	▲5.9%
サービス業	159	164	+3.1%
流通業	156	121	▲22.3%
製造業	788	806	+2.3%
金融業・保険業	280	255	▲9.0%
不動産業	272	274	+0.8%
その他	236	160	▲32.1%
一括ファクタリング	741	782	+5.5%
計	2,647	2,567	▲3.0%

<<契約形態別契約実行高>>

- ・ファクタリングが伸長。企業融資は減少したものの、新たな取り組みが進展

<<業種別契約実行高>>

- ・一括ファクタリングは増加となるものの、流通業その他の減少等により前年同期比減少

8) インベストメント事業の状況

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2023/3期 3Q	2024/3期 3Q
アセットビジネス	売上高	78	61
	売上総利益	53	34
	営業利益	37	22
不動産	売上高	117	35
	売上総利益	20	14
	営業利益	16	6
アドバイザー	売上高	3	4
	売上総利益	3	3
	営業利益	▲1	▲0
連結ベース 計	売上高	199	100
	売上総利益	75	51
	営業利益	52	27

※「調整額」を除いて表示

前年1Qに大型の販売用不動産売却
を計上したこと等により売上および
利益は減少

<<アセットビジネス>>

- ・ ファンドのEXIT案件計上が複数あったものの、前年同期比では売上、利益共に減少

<<不動産>>

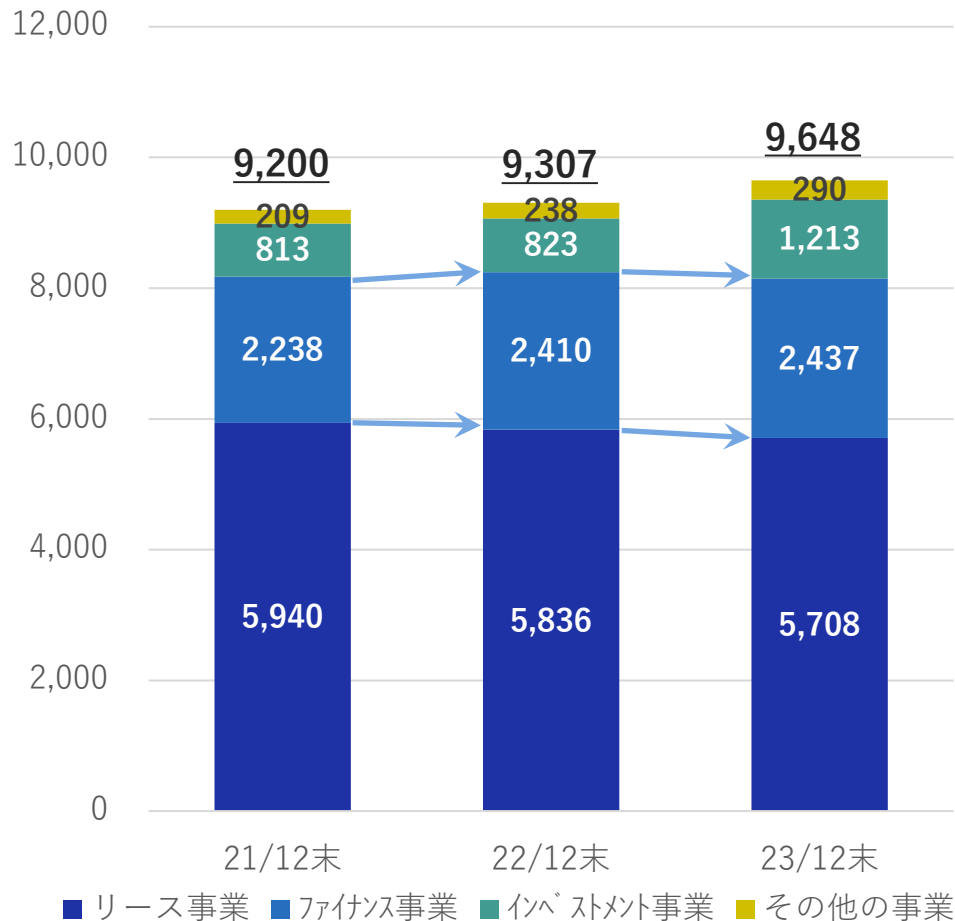
- ・ 前年1Qに大型売却等があったことから売上および利益は前年同期比減少

<<アドバイザー>>

- ・ 前年同期並みの推移

9) 営業資産残高の状況

(単位：億円)



<<リース事業>>

- ・ GIGAスクール特需後の通減はあるもののICTや小口リース、海外現法の資産増加により減少幅を抑制

<<ファイナンス事業>>

- ・ 国内の企業融資を中心にアセットを積み上げ、前年同期比27億円増加

<<インベストメント事業>>

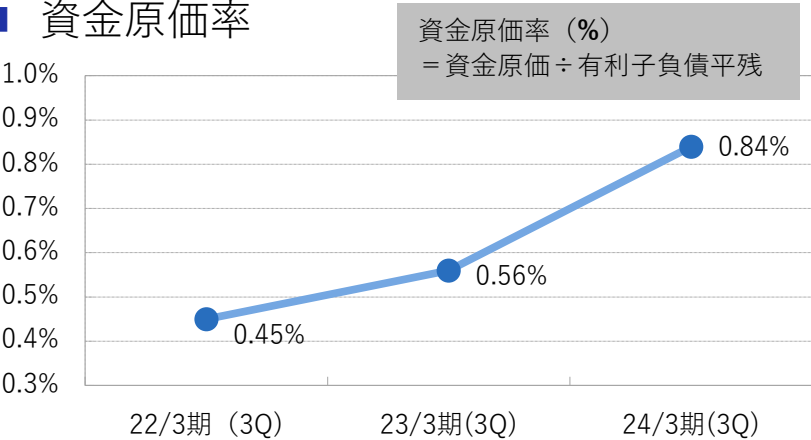
- ・ インカムゲインアセットの取得等により前年同期比390億円増加

<<その他の事業>>

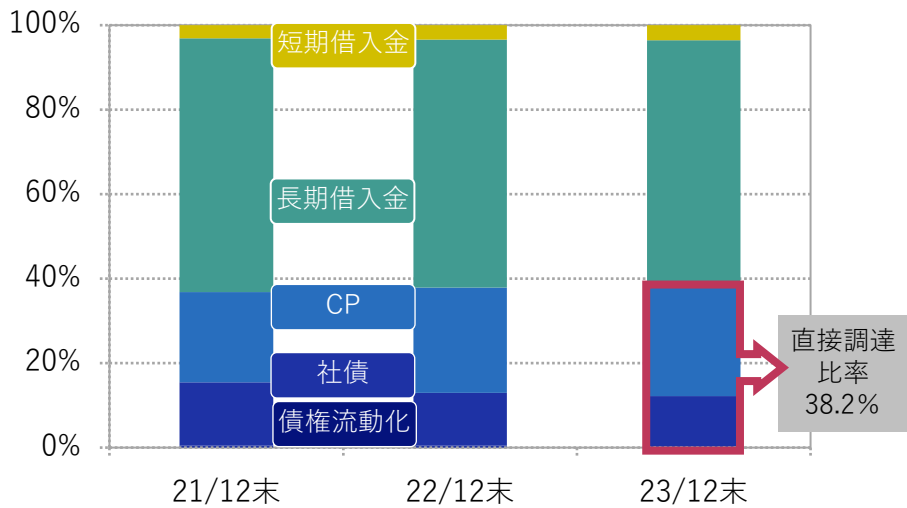
- ・ ヘルスケアと太陽光の取り組み進展に伴い前年同期比51億円の増加

10) 資金調達状況

■ 資金原価率



■ 有利子負債構成比



■ 有利子負債残高

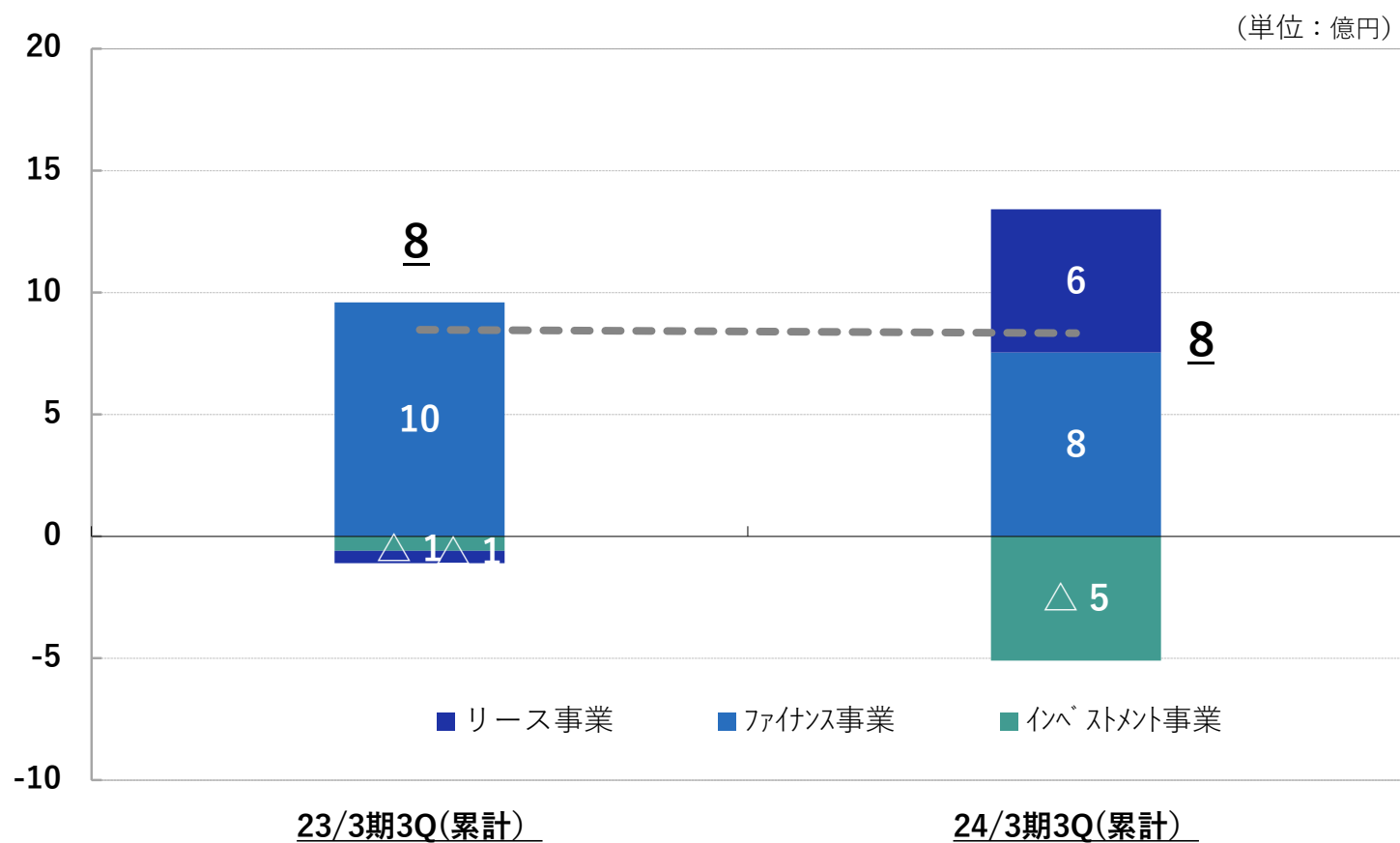
(単位：億円)

	2022/12末	構成比	2023/12末	構成比	増減
短期借入金	272	3.4%	302	3.6%	+30
長期借入金	4,741	58.8%	4,934	58.2%	+193
CP	2,010	24.9%	2,200	26.0%	+190
社債	1,002	12.4%	1,008	11.9%	+6
債権流動化	44	0.5%	30	0.4%	▲14
計	8,069	100.0%	8,473	100.0%	+405

- 資金原価率は、外貨の調達金利の上昇等に伴い前年同期比0.28ポイント増加の0.84%
- 直接調達比率は、CPの増加に伴い前年同期比増(2022/12末37.9% → 2023/12末 38.2%)

11) 与信関連費用

- ・インベストメント事業の戻入益計上等から実額は減少し、ほぼ前年同期並み



2. 2024年 3 月期 計画

1) 業績予想

EXIT収益の計上タイミングにより4Q偏重の計画となっており、業績予想、及び1株当たり配当金について期首予想からの変更はなし

■ 業績予想

(単位：億円)

	2023/3期			2024/3期			3Q累計 増減	年間 増減
	3Q累計実績	4Q実績	年間実績	3Q累計実績	4Q(予想)	年間(予想)		
売上高	1,962	619	2,581	1,876	724	2,600	▲87	+19
営業利益	111	7	117	73	47	120	▲38	+3
経常利益	117	8	124	69	56	125	▲47	+1
親会社株主に帰属する純利益	57	8	64	35	40	75	▲22	+11
1株当たり純利益(円)	263円20銭	-	298円14銭	163円04銭	-	348円37銭	-	-

■ 1株当たり配当金

	2023/3期			2024/3期			上期 増減	下期 増減	年間 増減
	中間実績	期末実績	年間実績	中間実績	期末(予想)	年間(予想)			
1株当たり配当金	37円00銭	73円00銭	110円00銭	65円00銭	65円00銭	130円00銭	28円00銭	▲8円00銭	20円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。

NECキャピタルソリューション グループビジョン

次世代循環型社会をリードする Solution Company



\Orchestrating a brighter world

NEC